

環境目標とマネジメント

掲載以外の管理指標、全社(海外・関係会社を含む)を対象とした活動結果はコーポレートサイトにて公表しています。

2022年度の主な活動結果と 2023年度の目標(国内単体)

😊 2022年度目標達成 ☹️ 2022年度目標未達成

チャレンジ・ゼロ	管理指標	管理施策	2022年度目標 (括弧内は2015年比のCO ₂ 排出量の削減率)	2022年度実績 (括弧内は2015年比のCO ₂ 排出量の削減率)	2022年度 自己評価	2023年度目標 (括弧内は2015年比のCO ₂ 排出量の削減率)
まちづくりにおけるCO ₂	ZEB率	設計施工の新築物件のZEB化推進 ZEB実施率を床面積で管理 ※ ZEBの定義はZEB Oriented以上 ZEB率=ZEB物件床面積(m)÷全物件床面積(m)	60% 以上	63.7%	😊	62.5% 以上
事業活動におけるCO ₂	CO ₂ 排出量 【建築新築】	工事でのCO ₂ 排出量の削減 軽油代替燃料の利用拡大、省燃費運転、電化の推奨など	25,020t-CO ₂ 以下(+39%)	17,098t-CO ₂ (-5%)	😊	23,700t-CO ₂ 以下(+32%)
	CO ₂ 排出量 【土木】		30,410t-CO ₂ 以下(+2%)	22,063t-CO ₂ (-26%)	😊	28,000t-CO ₂ 以下(-6%)
	CO ₂ 排出量 【国内:事務所】	面積あたりのエネルギー使用量削減 再エネ電力契約、および非化石証書購入による再エネ化100%、省エネ活動	914t-CO ₂ 以下(-56%)	639t-CO ₂ (-69%)	😊	629t-CO ₂ 以下(-70%)*
	CO ₂ 排出量 【国内:社用車】		ガソリンなどの使用量削減 エコドライブ推奨、電気自動車などの低環境負荷車両への変更	545t-CO ₂ 以下(+20%)	592t-CO ₂ (+31%)	☹️
	再エネ利用率 【国内単体(施工・オフィス)】	RE100の早期達成 再エネ電力契約、および非化石証書購入による再エネ化	80% 以上	97.9%	😊	100%
	グリーンエネルギー自動車導入率	EV、PHVなどのグリーンエネルギー自動車の導入推進	1.6% 以上	1.8%	😊	7.5% 以上
サプライチェーンにおけるCO ₂	主要サプライヤーの SBTレベルCO ₂ 削減目標設定率	サプライチェーンでのCO ₂ 排出削減 主要サプライヤー(25社)への目標設定要請と設定に向けた対話実施	30% 以上	68%	😊	55% 以上
森林破壊	Cランク木材比率	森林破壊の恐れのある木材調達ゼロ 生物多様性ガイドライン(木材調達編)に基づき評価	10% 以下	16.2%	☹️	6% 以下
生物多様性損失	生物多様性自主基準適合率	自社開発事業、区画整理事業で生物多様性ガイドラインを運用 生物多様性自主基準適合チェックリストによる評価	100% (提案ベースBランク以上)	100%	😊	100%
資源利用・廃棄物	廃棄物排出量 【建築新築】 ※施工面積(m)あたり	建設廃棄物の適正管理と資源循環の推進 施工計画段階での目標値と削減策の設定、管理システムでの監視	23.5kg/m ² 以下	20.5kg/m ²	😊	23.0kg/m ² 以下
	混合廃棄物排出量 【土木】 ※売上高あたり		0.64t/億円 以下	0.6t/億円	😊	0.63t/億円 以下
	廃棄物のリサイクル率 【建築新築】		98% 以上	98.6%	😊	98% 以上
	廃棄物のリサイクル率 【土木】		98% 以上	99.5%	😊	98% 以上
水リスク	水使用量 【国内:事務所】 ※面積(m)あたり	水使用量の削減推進 節水についての啓蒙活動、節水機器取り付け	430ℓ/m ² 以下	417ℓ/m ²	😊	426ℓ/m ² 以下
	主要サプライヤーの水リスク調査実施率	サプライチェーンでの水環境保全とリスク対策 主要サプライヤー(25社)に対する水リスク調査の実施要請	20% 以上	80%	😊	85% 以上
環境マネジメント	環境貢献事業売上高	省エネルギー性能に優れた非住宅・住宅の施工拡大 設計施工案件でBELS★5以上	440億円 以上	566億円	😊	480億円 以上
	eco検定取得率	従業員の環境リテラシー、環境マインドの向上	55% 以上	62.3%	😊	68% 以上

※ 2022年度に対象範囲を見直し、目標値を再設定しています。

工事が及ぼす環境影響への配慮

工事での環境リスク管理と環境活動の推進

当社では、基本計画策定時に工事によって発生する恐れのある環境影響を抽出し、それらの発生を抑制するための手順や万が一発生した場合の対応方法を定めています。施工中の環境活動の運用状況や環境法令の遵守状況などは、定期的な現場パトロールを行い、問題があれば作業手順の見直しや緊急時対応設備の改善など再発防止を指導しています。また、各作業所での創意工夫ある優れた環境活動は、好事例として全店へ展開し、環境配慮施工につながる環境活動の好循環を目指して、取り組みを継続していきます。

資源循環のマネジメント

建設廃棄物については、土木の工種や建物の用途別に排出量目標を設定し、削減およびリサイクル活動を推進しています。排出状況は、作業所・支店で「建設副産物管理システム」を使用して逐次確認をするとともに、四半期ごとに全店実績を集計・分析し、資源循環促進を目指した活動を推進しています。

建設廃棄物管理にあたっては、法に基づく遵守事項を「建設廃棄物等適正処理要領」に規定し、運用しています。汚染土壌、アスベスト、フロン、PCBなどの有害物質の扱いについては、「建設廃棄物等適正処理要領」「化学物質適正管理規定」などで手順を定めています。関連する法規制の改正に対しては、迅速に周知し、対応の指示や運用の変更を行い、適正に管理、処理を行なっています。

事業活動における物質・エネルギーのINPUT・OUTPUT

